第 10 講　織豊政権による統一
PART1 ヨーロッパ人の来航

Chapter 1　大航海時代とアジア

目標
大航海時代のポルトガル・スペインのアジア進出の目的を知ろう。
ポルトガルとスペインのアジアへの到達の仕方の違いを知ろう。

1　西洋人の東洋進出

①背景

A　イタリア商人**マルコ＝ポーロ**の『**世界の記述〔東方見聞録〕**』などによる刺激

日本〔ジパング〕は金が無尽蔵で真珠を大量に産する，と記述される。

B　インド・東南アジア特産の**香辛料**や金・銀の魅力

C　羅針盤の改良と快速帆船の普及により遠洋航海が可能に

②［1　　　　　　　　　］（15 世紀後半～ 17 世紀）の始まり

ヨーロッパを中心に**世界の一体化**が進む。

※新航路開拓・**貿易拡大**・**キリスト教〔カトリック〕布教**・**植民地獲得**などが目的。

2　ポルトガル・スペイン船の日本来航

①［2　　　　　　　　　］（東廻りでアジアに到達）

1498 年　ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド航路開拓

※以後，ポルトガルはゴア（インド）→

マラッカ（マレーシア）→［3　　　　　　］**（中国）**へと進出。

1543 年？**種子島（大隅国）**に漂着した商人が，鉄砲を伝える。

※以後，頻繁に平戸・長崎（肥前国），府内（豊後国）などに来航。

②**スペイン〔イスパニア〕**（西廻りでアジアに到達）

1492 年　コロンブスが新大陸〔アメリカ〕到達

1519 年～マゼラン船団の世界周航（～ 22 年）

1557 年　［4　　　　　　］**（フィリピンのルソン島）**へ進出

1584 年　平戸（肥前国）に来航し貿易を開始

3 南蛮貿易

〔5　　　　　　　　〕は，

南蛮人（＝ポルトガル人・スペイン人など南欧系）と日本が行った貿易。

①背景

A　日本の〔6　　　〕産出量増大

石見大森銀山などで朝鮮から伝わった**灰吹法**という新たな精錬技術が導入される。

B　中国の〔7　　　　〕生産量増大

明は民間貿易を認めない**海禁政策**を続けていたため，

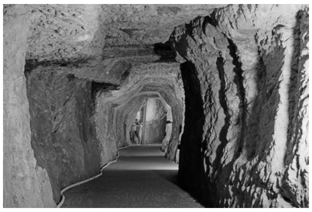
中国人を中心とする密貿易商人の**後期倭寇**が増えていた。

②性格

日本産の銀と**中国産の生糸**を交換する〔8　　　　　　　　〕。

キリスト教の布教と一体化していたので，利潤を求める戦国大名の中に，

キリシタン〔切支丹〕大名が発生した。



石見銀山遺跡

③貿易品

A　輸出品

銀・硫黄・刀剣・漆器など。

B　輸入品

生糸・絹織物・陶磁器・**鉄砲**・**火薬**・砂糖・毛織物〔ラシャ〕など。

④貿易港

平戸（肥前国，松浦氏），長崎（肥前国，大村氏），府内（豊後国，大友氏），

鹿児島（薩摩国，島津氏）などに**南蛮船**が来航。

⑤結果

南蛮人が東アジアの貿易を独占，**中継貿易で栄えた琉球王国は衰退**した。

※ 1567 年，明が中国船の東南アジアへの渡航を許したため後期倭寇は衰退した。

※明は日本に対する海禁は解除しなかったので，

　台湾や東南アジアで出会貿易が行われることになった。

まとめ　南蛮人のアジア進出は，貿易拡大・キリスト教布教などが目的だった。
ポルトガルは東廻り，スペインは西廻りでアジアに到達した。

Chapter 2　鉄砲とキリスト教の伝来

目標
安土桃山時代に戦法や築城法が変化したのはなぜだろう？
16世紀に日本を含むアジアにキリスト教が伝わったのはなぜだろう？

1　鉄砲〔火縄銃・種子島〕の伝来

1543年，〔1　　　　　　〕**（大隅国）**に漂着した，中国の密貿易商人**王直**の船に乗った〔2　　　　　　　　〕**人**が〔3　　　　〕を伝える（1542年説もある）。
※島主の**種子島時尭**が鉄砲2挺を購入し，家臣に使用法と製造法を学ばせる。

①戦法の変化
　騎馬戦を中心とする戦法から，
　足軽鉄砲隊による集団戦法へ。
②築城法の変化
　山城から**平山城**や**平城**へ。
③鉄砲鍛冶による国産化
　〔4　　　〕**（和泉国）**，**国友（近江国）**，
　根来・雑賀（紀伊国）など。

ザビエル

2　キリスト教の伝来

①背景→対抗宗教改革
　16世紀，ドイツ人ルターやフランス人**カルヴァン**の**宗教改革**による
　プロテスタント〔新教〕の隆盛に対する**カトリック〔旧教〕**の対応。
②**イエズス会**〔耶蘇会〕の結成
　1534年，イグナティウス＝ロヨラやフランシスコ＝ザビエルがパリで結成。
③**フランシスコ＝**〔5　　　　　　　〕**（スペイン人）**の布教
　1549年，マラッカで洗礼した日本人アンジロウ〔弥次郎〕の案内により
　中国船で〔6　　　　　〕**（薩摩国）**に来航，島津貴久に布教許可を得る。
　※のち松浦隆信の平戸（肥前国）や**大内義隆**の**山口（周防国）**を経て京都に入るが，
　　天皇・将軍ともに布教許可を得られなかった。

　その後，約２年間山口や**大友義鎮〔宗麟〕**の**府内（豊後国）**など西日本各地に布教後，
　日本を退去。次の目的地である中国に入る前に没した。
④後継者たちの布教⇒『耶蘇会士日本通信』によりイエズス会に報告
　A　**ガスパル＝ヴィレラ**（ポルトガル人）
　　13代将軍義輝の許可を得て畿内へ布教，堺へも住む。
　B　**ルイス＝フロイス**（ポルトガル人）
　　織田信長・豊臣秀吉の庇護を受けたがバテレン〔宣教師〕追放令で退去。
　　再来日し，『**日本史**』を著したのち長崎で死去。
　C　オルガンティーノ（イタリア人）
　　織田信長の庇護を受け，**京都**に**南蛮寺〔教会堂〕**，
　　安土（近江国）に**セミナリオ〔神学校〕**を設立。
　D　〔7　　　　　　　　　〕（イタリア人）→巡察使として1579年に来日
　　有馬（肥前国）にセミナリオを開設，
　　豊後府内に**コレジオ〔大学・宣教師養成所〕**を設立。
　　1582年には**天正遣欧使節派遣を提案**し，インドのゴアまで同行。
　　1590年，使節の帰国時に再来日し，活字印刷機を伝えた。
⑤**キリシタン大名**→多くは貿易利潤のために入信しローマ字印章〔印判〕を用いる
　〔8　　　　　　　〕，**有馬晴信**，**大友義鎮〔宗麟〕**，
　黒田孝高〔如水〕，**小西行長**，**高山右近**，蒲生氏郷ら。
　※彼らは家臣や領民に入信を勧めたが，
　　それが家臣団の内部対立や大名同士の争いにもつながった。
⑥〔9　　　　　　　　　〕（**1582**～90年）→**ヴァリニャーノの勧め**
　九州の大村・有馬・大友の三大名が，
　伊東マンショ・千々石ミゲル・中浦ジュリアン・原マルチノの**４少年**を派遣。
　※インドのゴア，ポルトガルのリスボンを経てローマに到着。
　　教皇グレゴリウス13世に謁見し，1590年に帰国する。
　※しかし日本では豊臣秀吉によりバテレン〔宣教師〕追放令が発布されており，
　　布教活動は著しく制限された。

まとめ
鉄砲の伝来・普及により，安土桃山時代には戦法や築城法が変化した。
16世紀，カトリックの対抗宗教改革により，アジアにキリスト教が伝わった。

第10講 PART 1 確認問題

1 大航海時代をうながす要因の一つとなったアジアの特産物はどれか。

① 茶　② 綿織物
③ 香辛料　④ さとうきび

2 スペインが 16 世紀半ばに進出したアジアの都市はどこか。

① マニラ　② マカオ
③ マラッカ　④ ゴア

3 南蛮貿易の背景となった，日本で飛躍的に生産量が増大し，
多く輸出されたのはどれか。

① 金　② 銀
③ 銅　④ 鉄

4 南蛮貿易において，日本の輸入品に**あてはまらないもの**はどれか。

① 火薬　② 硫黄
③ 陶磁器　④ 生糸

5 鉄砲伝来後の鉄砲の産地として栄えた，和泉国の都市はどれか。

① 国友　② 雑賀
③ 根来　④ 堺

6 フランシスコ＝ザビエルが府内で布教したとき，
豊後国を治めていた戦国大名はだれか。

① 有馬晴信　② 大内義隆
③ 松浦隆信　④ 大友義鎮〔宗麟〕

7 織田信長・豊臣秀吉の庇護を受けたが，
バテレン〔宣教師〕追放令で退去した宣教師はだれか。

① オルガンティーノ　② ヴァリニャーノ
③ ルイス＝フロイス　④ ガスパル＝ヴィレラ

8 天正遣欧使節を派遣したキリシタン大名はだれか。

① 小西行長　② 高山右近
③ 黒田孝高　④ 大村純忠

第10講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③　ポルトガルやスペインは，インド・東南アジア特産の**香辛料**や金・銀に魅力を感じていた。

2 解答：①　マニラはフィリピンの**ルソン島**にある。②～④にはポルトガルが進出した。

3 解答：②　**石見大森銀山**などで朝鮮から伝わった**灰吹法**という新たな精錬技術が導入され，生産量が増大した。

4 解答：②　硫黄は日本の輸出品。

5 解答：④　①の**国友**は近江国，②の雑賀と③の根来は紀伊国。

6 解答：④　①の**有馬晴信**と③の松浦隆信は肥前国，②の**大内義隆**は周防国の戦国大名。

7 解答：③　ポルトガル人のルイス＝フロイスは，再来日して『**日本史**』を著したのち長崎で死去した。

8 解答：④　**天正遣欧使節**は，**ヴァリニャーノ**の勧めに基づき，九州の大村純忠，有馬晴信，大友義鎮〔宗麟〕の三大名が派遣した。